

市内に電気を供給する小売電気事業者 174 者の 再生可能エネルギー供給比率などを公表します

2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、CO₂排出量が少ない環境性に優れた電気の市内への供給と選択を推進するため、横浜市では、令和元年度より「横浜市低炭素電気普及促進計画書制度」を施行しています。

この度、**横浜市内に電気を供給する小売電気事業者が174者あることや、各者の再生可能エネルギーで発電された電気の供給比率やRE100対応可否などの情報が把握**できました。

市民・市内事業者の皆様にも、環境性の観点からも電気を選択していただくため、各小売電気事業者の再エネ供給比率等の令和元年度実績を公表します。

1 全174事業者の令和元年度実績

市内に電気を供給する174事業者の「①CO₂排出係数の平均値」「②再エネ等の供給比率の平均値」「③RE100対応事業者数」は、以下のとおりです。

市内に電気を供給する 小売電気事業者数	① CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh) 平均値 (最小値～最大値)		② 再エネ等の供給比率 平均値 (最小値～最大値)		③ RE100対応 事業者数
	基礎	調整後	再エネ	未利用エネ	
174	0.450 (0.031～0.780)	0.454 (0～0.813)	18.01% (0～99.6)	0.77% (0～43.13)	61

① CO₂排出係数 (単位: kg-CO₂/kWh)

- 小売電気事業者の販売電力量1kWh当たりのCO₂排出量を示す数値のことです(数値が小さいほどCO₂排出量が少ない)。
- 国が定めた算定方法の違いにより、以下の2種類があります。

基礎排出係数	調整後排出係数
発電時のCO ₂ 排出量を示す数値	発電時のCO ₂ 排出量からCO ₂ を排出しない付加価値(環境価値)の取得状況を調整した数値

② 再生可能エネルギー・未利用エネルギー(再エネ等)の供給比率

- 小売電気事業者が供給する全電気メニュー平均での再エネ等の供給比率を示す数値のことです(数値が大きいほど供給比率が高い)。
- 再生可能エネルギー: 太陽光や風力、バイオマス発電等
- 未利用エネルギー: 工場排熱を利用したエネルギー等

③ RE100対応事業者

- RE100に対応した「再エネ100%電気メニュー」の供給が可能な小売電気事業者のことです。
- RE100: 2050年までに再エネ100%を目指す企業のための国際イニシアチブ

2 小売電気事業者別の実績値について

小売電気事業者別の実績値等をまとめた資料や各小売電気事業者から提出された報告書の内容は、下記ホームページに公表しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/ondanka/teitanso/teitanso-R01-kouhyo.html>

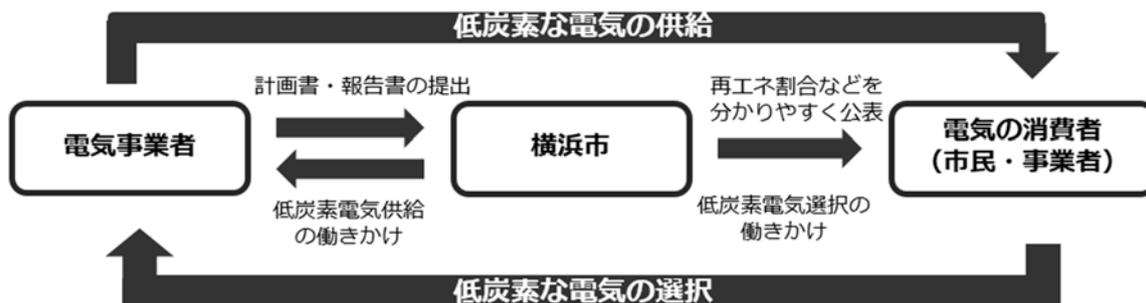
または、

[横浜市 低炭素電気公表](#)

[検索](#)

【参考】横浜市低炭素電気普及促進計画書制度

- 横浜市に供給される「電気の低炭素化」と、電気の消費者による「低炭素な電気の選択」を推進するため、横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づき令和元年度に施行した制度です。
- 市内に電気を供給する小売電気事業者から市へ提出される「低炭素電気普及促進計画書兼報告書」の内容を受け、各事業者が供給する電気の環境性に関する情報を公表します。
- 各小売電気事業者の電気の環境性に関する情報として、国が公表する「CO2 排出係数」に加え、「再生可能エネルギー等の供給比率」や「RE100 対応可否」等についても把握・公表する点が、本市制度の特徴です。



お問合せ先

環境創造局 環境管理課長 山本 恵幸 Tel 045-671-2474